

修了生の活躍事例

栃木県内で工業系を学びたい！

栃木県北部にある那須拓陽高校の普通科を卒業しました。大学進学にあたり、栃木県内にある工業系の大学を探していたところ、高校の先生から関東能開大を紹介してもらい、早速、募集要項などを取り寄せました。学費などの費用も進学先を選ぶ要因になりました。

たいへんだが楽しく充実していた！

専門課程は制御技術科に入校し、応用課程は生産機械システム技術科に進学しました。高校が普通科でしたので、旋盤やフライス盤などの機械を触るのも初めてでした。いろいろなことが初めてでしたが、実学一体の授業で様々なことを学ぶことができました。

応用課程の最終学年で実施する開発課題実習では、足利にある企業の課題として、「プラスチックフィルタ自動検査装置の開発」に取り組みました。生産系の3科の学生10名ほどが、それぞれの専門分野の要素と活かし、グループ内でディスカッションをしながら課題に取り組みました。たいへんなこともありましたが楽しかったことの方が多かったです。

JUKI株式会社
筒井 秀幸 (38)
関東職業能力開発大学校
応用課程
生産機械システム技術科
平成17年度修了



自分が学んだことを後輩に！

当社には、多くの関東能開大の修了生が在籍しており、現在の部署の上司も短大時代の修了生です。部署は比較的年齢層も若く、修了生を含めた後輩も多数おります。これからは自分が会社の中で学んできたことを解りやすく、伝わるようにかみ砕いて、人材育成に取り組んでいきたいと考えています。

関東能開大の授業がそのまま現在の仕事に！

現在、自分が所属している生産技術部では製造ラインの調整や組換え、新製品の製造ラインの立ち上げに携わっています。産業用ロボット(加工、組立、塗装など)も以前から活用しており、ティーチングなども行いますので、不可欠な技術要素です。

現在の業務を行うにあたり、企画⇒構想⇒開発という一連のプロセスを経て、製造ラインなどが出来上がります。この流れは関東能開大で取り組んだ開発課題実習の流れと同じで、そのまま今の業務につながっています。

欲を言うと、学生時代に加工機械や道具等のコストの考え方なども教えてもらえばありがたかったかなと思います。

上司からの声 生産技術部 グループリーダー 伊澤 英典 様

いつも真面目に業務に取り組んでおり、職場からは勿論の事、他職場からも厚い信頼を得ています。特に後輩への指導力に優れ、数多い社内指導に携わってきました。

今後も現状に満足する事無く更なる高みを目指し、中心メンバーとしての活躍に期待します。



JUKI株式会社 現在、関東ポリテクカレッジの修了生10名以上が在籍しています。

【事業概要】

工業用ミシン事業、家庭用ミシン事業、産業装置事業、グループ事業、カスタマービジネスの5つの事業すべてにおいて、グローバルに事業を展開しています。85%が海外で販売され、工業用ミシンの分野においては、180カ国以上のお客様にご使用いただいています。

【主要製品など】

工業用ミシン、家庭用ミシン、実装関連装置、スリーブバスター、データエントリーシステム、受託開発・製造事業

